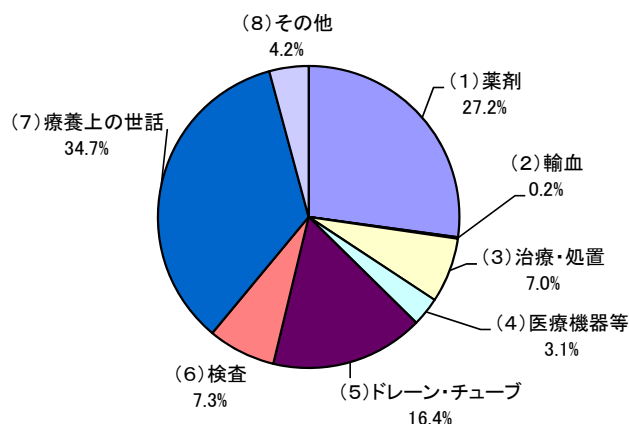


●平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
患者さんに影響があった、あるいはその可能性があったインシデント

概要		
項目	件数	%
(1) 薬剤 (うち与薬に関するもの)	722 (569)	27.2 (21.4)
(2) 輸血	4	0.2
(3) 治療・処置	185	7.0
(4) 医療機器等	82	3.1
(5) ドレーン・チューブ	437	16.4
(6) 検査	193	7.3
(7) 療養上の世話 (うち転倒・転落)	924 (441)	34.7 (16.6)
(8) その他	112	4.2
合計	2659	100.0



平成30年度は職員から2659件のインシデント報告がありました。

3大インシデントは薬剤に関するもの、転倒・転落、ドレーン・チューブ類に関するものと例年と同様でした。

重要な事例については再発防止のため、関連部署や関連する委員会などと、原因究明や対策について検討しています。

●食べ物による窒息事故を防ぐために

高齢者の「誤嚥等の不慮の窒息」による死亡者数は、高齢者の「不慮の事故」の中で最も多くなっています。

また、「交通事故」よりも多くなっています。

<高齢になるほど窒息のリスクが高まります>

- 歯が衰えている
- かむ力が弱い
- 唾液の量が少ない
- 飲み込む力が弱い

<予防のために重要なこと>

- ◆ 食べ物は食べやすい大きさにして
- ◆ ゆっくり、よくかんで
- ◆ 無理に飲み込まない

～消費者庁 News Release 平成30年12月26日 参照～

パンやご飯の塊が大きい程窒息のリスクが高まるため、当院では一気に飲み込んだり、丸呑みしたりといった傾向の方や70歳以上の方には、おかゆ（全粥）を提供することもあります。

●医療安全川柳：テーマ「誤嚥（ごえん）」

11月25日の医療安全の日を含む日曜から土曜までの1週間は医療安全推進週間です。平成30年度は、「誤嚥（ごえん）」をテーマに医療安全川柳に取り組みました。

院内32部署から医療安全川柳が投稿され、来院された方々の人気投票（177票）などから優秀作品を選びました。

投票にご協力頂き、ありがとうございました。

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

中央監視室



誤嚥なし
ゆつくり噛みしめ
幸せを

事業管理者賞

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

医療安全対策室



青ざめた
うそとまるもち
うのみして

患者さん・病院を
利用される皆様からの
投票による優秀賞

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

中央滅菌室



誤嚥予防
姿勢で食べる
食べやすい

医療安全対策室長賞

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

患者総合相談室



誤嚥予防
お口の体操
た・か・ら・づ・か

病院長賞